

Jミルクが2021年1月29日に公表した「需給見通し(※2020年11月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。
 「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

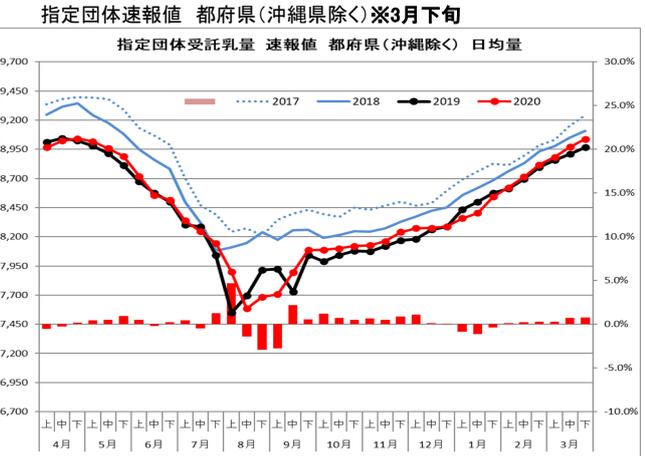
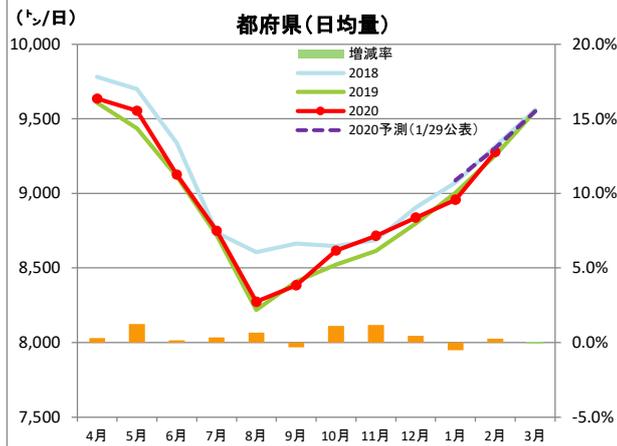
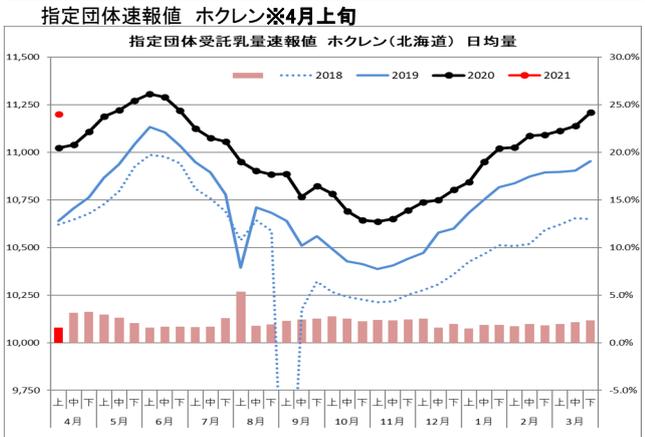
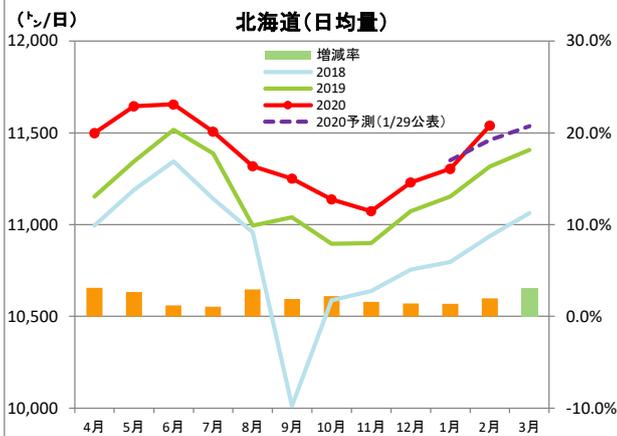
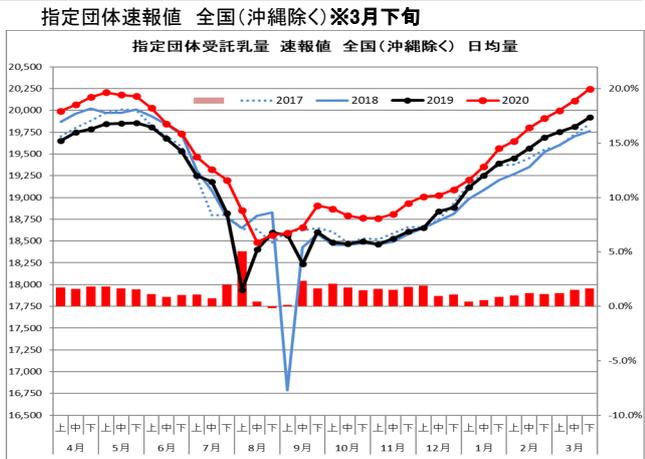
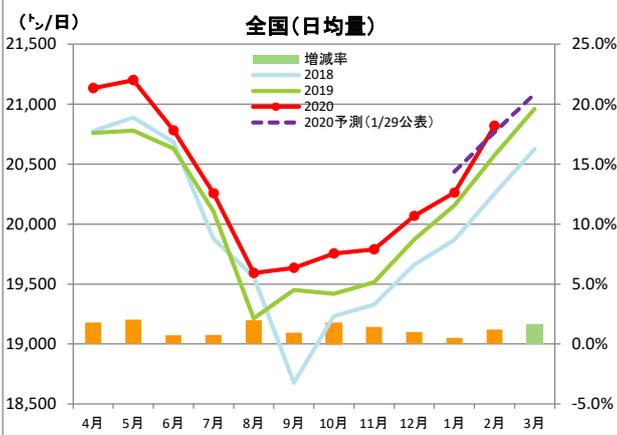
発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《今後の消費動向は引き続き不透明～生乳生産量はピークへ～》

- ・2月の需給実績について、生乳生産は気温の上昇もあって堅調に推移した。一方、飲用需要については業務用が引き続き低調に推移したものの、牛乳の家庭内消費が予測をやや上回り、高い伸び率となったことで全体では前年並みとなった。なお、脱脂粉乳・バター在庫量は予測を下回ったものの、引き続き高水準で推移している。
- ・また、3月の牛乳販売動向(Jミルク予測：前年比96.4%、インテージSRI+実績：前年比97.4%)については、インテージSRI+データが統計より高めにできることを勘案すると、予測をやや下振れして推移している可能性が高い。
- ・直近(4/5週)の牛乳類の消費については、各品目で前週(3/29週)より販売個数が減少しており、ヨーグルトと家庭用バターの販売個数についても前週より若干減少して推移している。平均気温の低下が影響しているものと考えられるが、引き続き消費動向を注視してゆく必要がある。
- ・なお、4/12より東京・京都等において「まん延防止等重点措置」が適用されており、今後、適用地域がさらに拡大する見通しにあることから、業務用需要がより厳しい状況になるものと考えられる。感染拡大に伴い、消費動向がより不透明な状況になると考えられるが、全国の生乳生産量がピークへ向かってゆく中で、まずは学乳が休止する大型連休に向けて一層の需要拡大の取り組みが重要となる。

【生乳生産量】※増減率は、日量で算出。

- (1)2月の生乳生産量は、全国583千ト(前年同月比101.2%)、北海道323千ト(同102.0%)、都府県260千ト(同100.3%)。
- (2)Jミルク予測値(全国：581千ト、北海道：321千ト、都府県261千ト)から全国・北海道は上振れして推移している。
- (3)直近の指定団体速報値によると、全国が同101.6%(3月下旬)、北海道が同101.6%(4月上旬)、都府県(沖縄除く)が同100.8%(3月下旬)。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

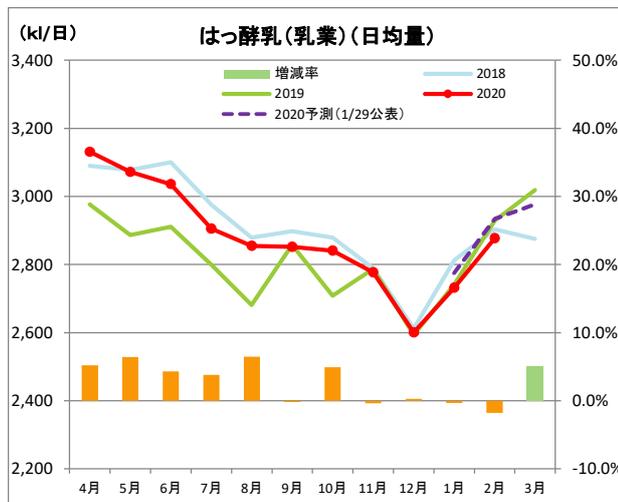
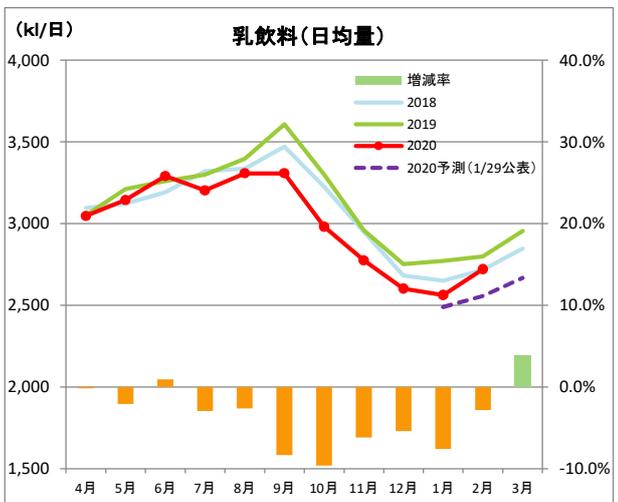
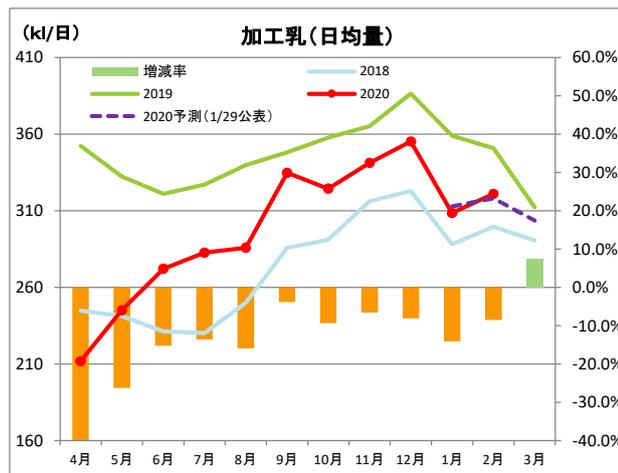
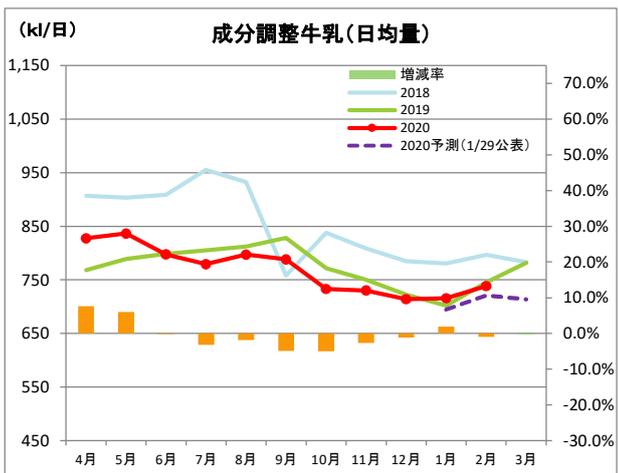
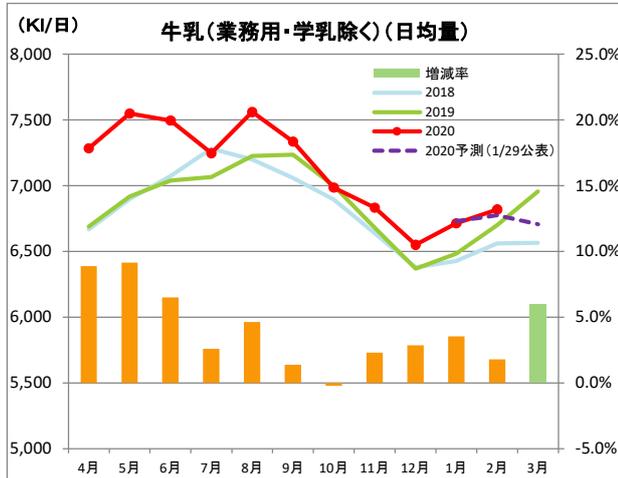
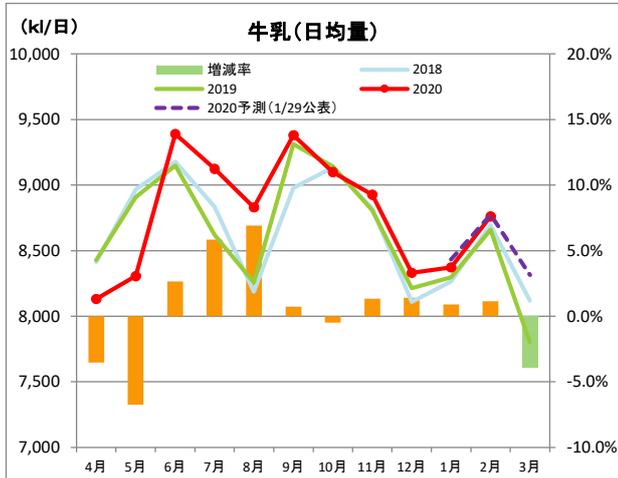
(1)2月の牛乳等生産量は、牛乳245千kl(前年同月比101.2%)、成分調整牛乳21千kl(同99.0%)、加工乳9千kl(同91.5%)、乳飲料76千kl(同97.2%)となり、牛乳類合計では351千kl(同99.9%)となった。

なお、予測値との比較では、成分調整牛乳・乳飲料は上振れで推移している。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同101.8%と前年を上回り、「業務用」は同92.4%と低調に推移している。

(3)はっ酵乳(乳業)は81千kl(同98.2%)と前年を下回り、予測値(82kl)からは若干下振れで推移している。

また、非乳業実績(1月)については、同99.9%と前年と同程度で推移している。

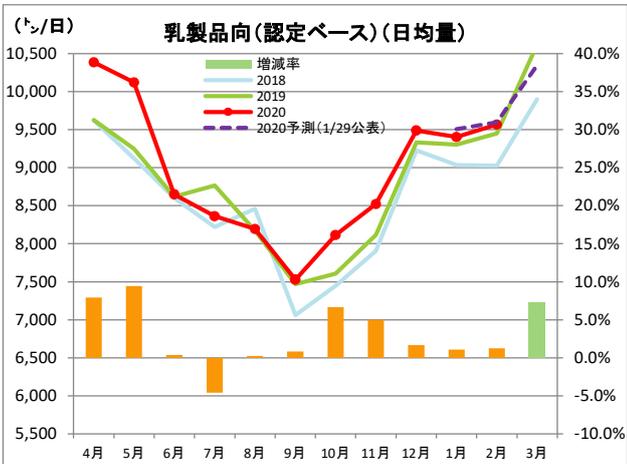
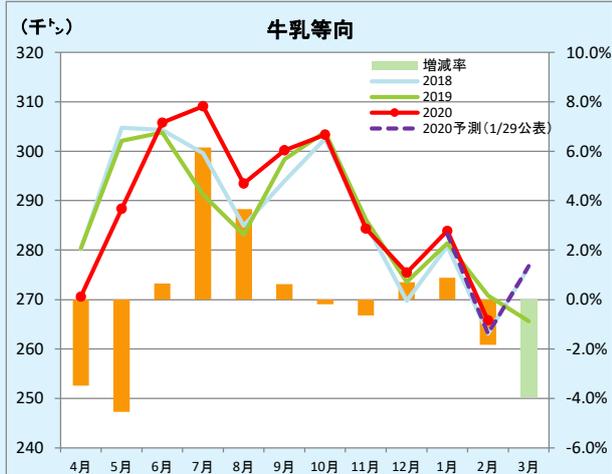
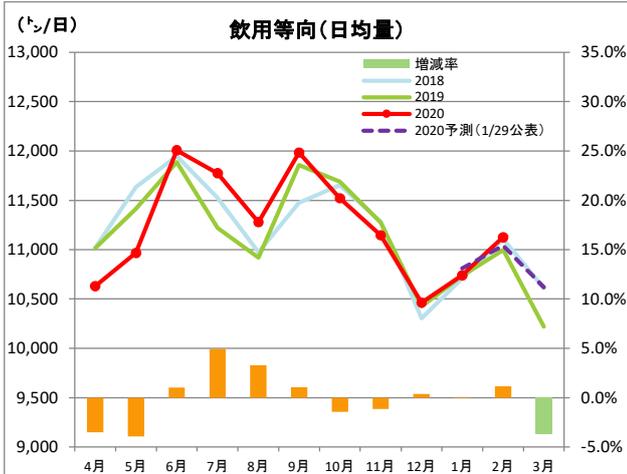
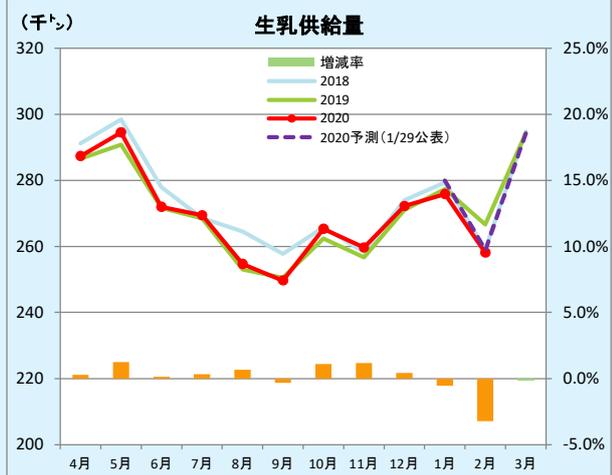
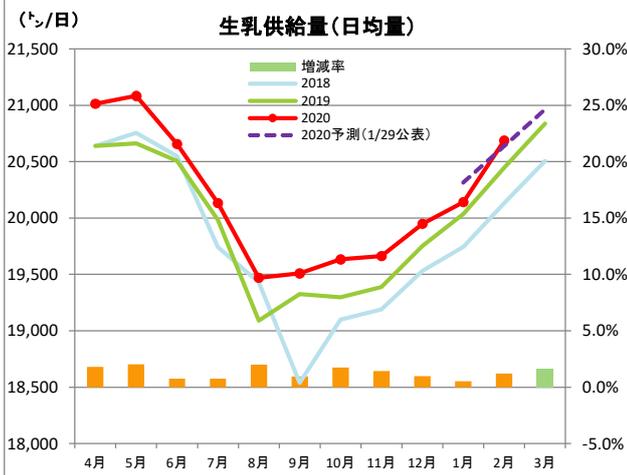


【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1) 2月の生乳供給量は579千トン(前年同月比101.2%)、飲用等向311千トン(同101.2%)、乳製品向(認定ベース)268千トン(同101.2%)。
 (2) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:578千トン)、飲用等向(予測値:309千トン)、乳製品向(予測値:269千トン)ともほぼ同程度で推移している。

【都府県の生乳需給】

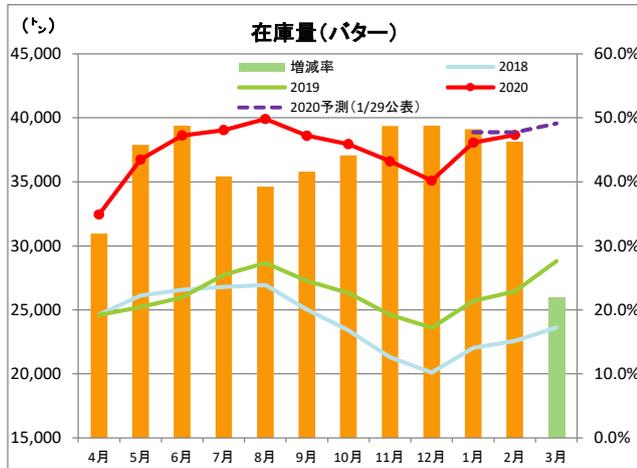
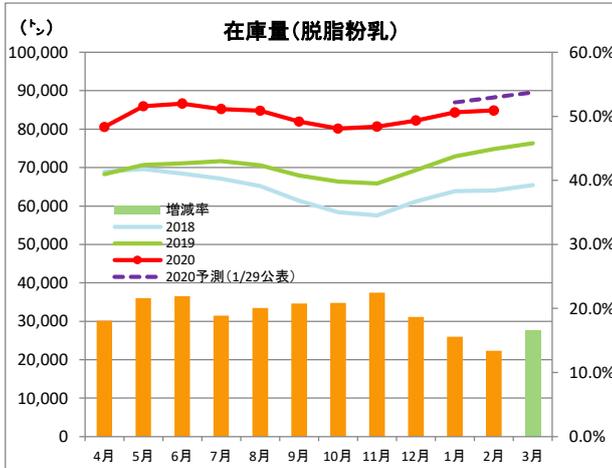
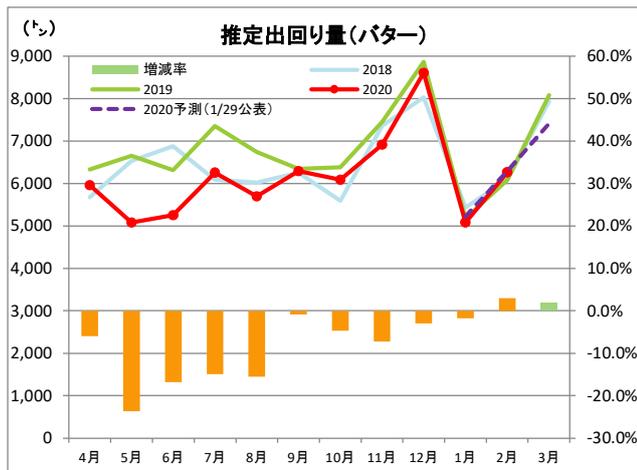
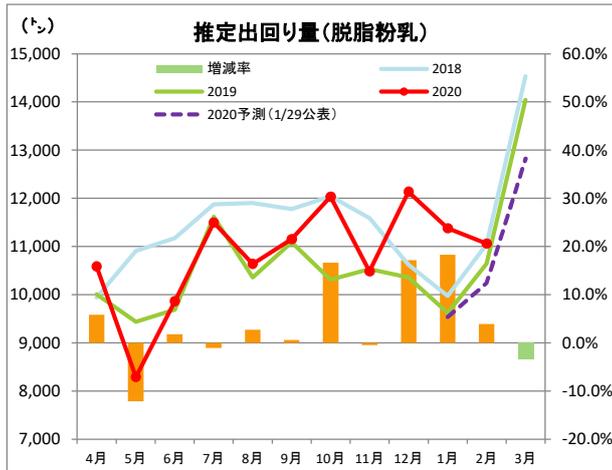
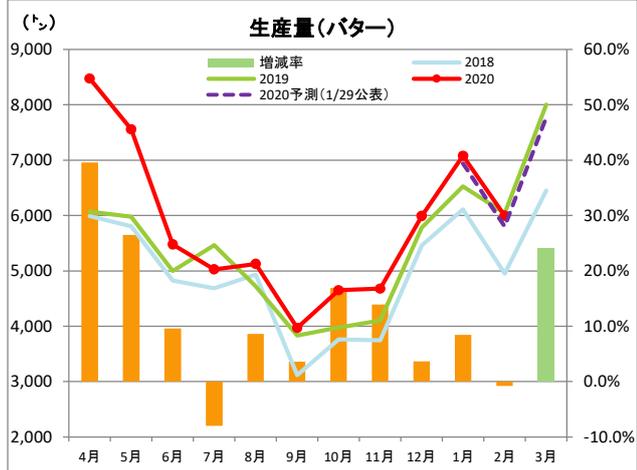
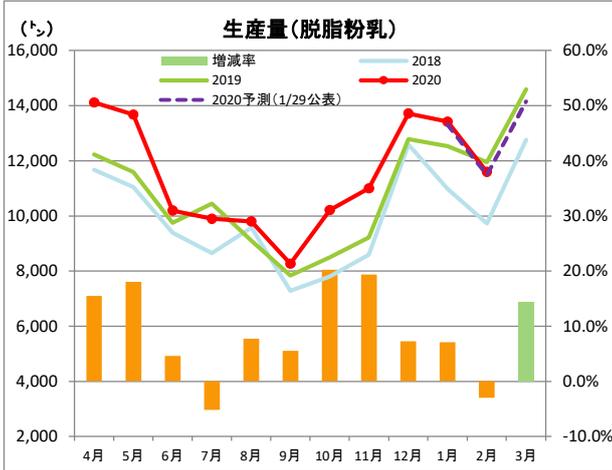
(1) 2月は、生乳供給量258千トン(前年同月比96.8% ※閏年修正100.2%)、牛乳等向266千トン(同98.2% ※閏年修正101.7%)。
 (2) 北海道からの移入量について、34千トン(同104.6% ※閏年修正108.3%)と前年を上回った。
 (3) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:259千トン)は同程度、牛乳等向(予測値:263千トン)、北海道からの移入量(予測値:32千トン)は若干上振れで推移している。



【脱脂粉乳・バター需給】

(1) 脱脂粉乳は、2月の生産量は11.6千トン(前年同月比97.0% ※閏年修正100.5%)、推定出回り量は11.1千トン(同103.9% ※閏年修正107.6%)、その結果、在庫量は84.9千トン(同113.4%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:10.2千トン)は上振れで推移している。

(2) バターは、2月の生産量は6.0千トン(同99.2% ※閏年修正102.8%)、推定出回り量は6.3千トン(同103.0% ※閏年修正106.7%)、その結果、在庫量は38.7千トン(同146.3%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:6.3千トン)と同程度で推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)3月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比97.4%、成分調整牛乳:同93.7%、加工乳:同94.9%、乳飲料:同90.8%。

牛乳類では同96.1%

【参考】2018年度比…牛乳:102.9%、成分調整牛乳:78.7%、加工乳:171.5%、乳飲料:95.3%(牛乳類トータル:100.1%)

・販売単価は、牛乳:189.0円、成分調整牛乳:172.7円、加工乳:187.1円、乳飲料:150.5円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(4/5週)の販売個数は、牛乳:前年同期比93.1%、成分調整牛乳:同87.4%、加工乳:同91.1%、乳飲料:同87.2%。

牛乳類トータルでは同91.7%

【参考】2019年度比…牛乳:106.0%、成分調整牛乳:92.5%、加工乳:93.6%、乳飲料:93.8%(牛乳類トータル:102.7%)

・販売単価は、牛乳:189.3円、成分調整牛乳:173.1円、加工乳:188.6円、乳飲料:150.8円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

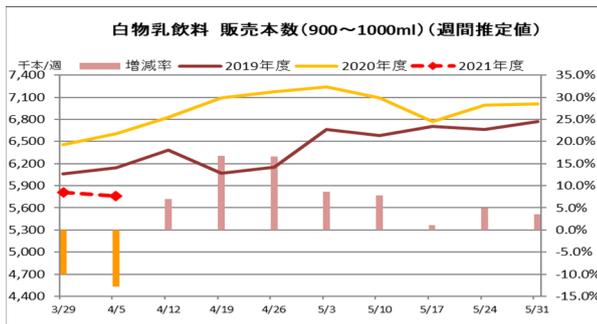
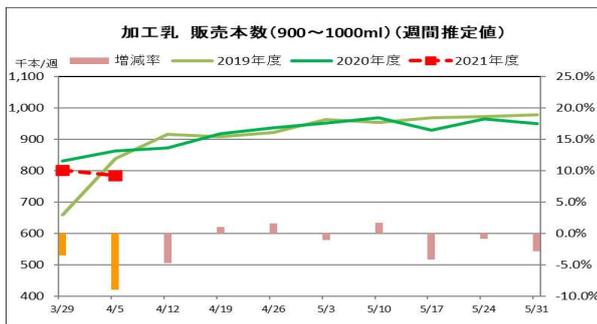
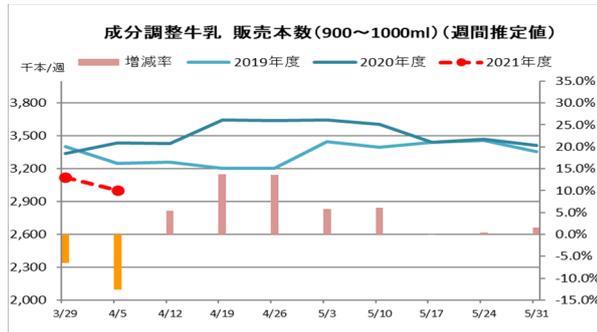
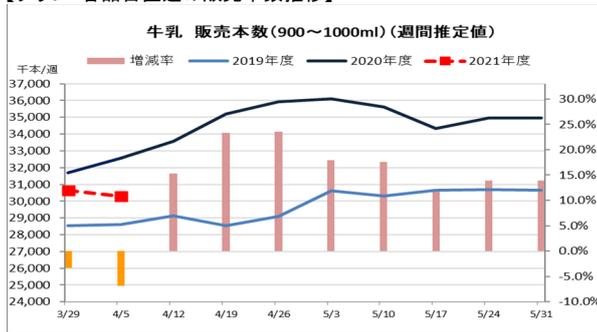
単位:千個、円

品目	区分	2020/10-	2020/11-	2020/12-	2021/1-	2021/2-	2021/2- 同年修正	2021/3-
トータル	販売個数	179,610	169,957	173,977	171,074	157,626		172,484
	販売個数前年比	99.9	103.3	104.0	104.7	98.8	102.4	96.1
	販売単価	182.8	182.1	182.3	182.4	182.0		182.2
牛乳	販売個数	135,286	128,122	131,686	129,682	119,005		130,908
	販売個数前年比	101.8	105.0	105.2	106.5	100.3	103.8	97.4
	販売単価	190.1	189.3	189.3	189.4	189.1		189.0
成分調整牛乳	販売個数	13,587	13,004	13,481	12,875	12,064		13,166
	販売個数前年比	98.3	100.8	104.1	102.0	96.0	99.5	93.7
	販売単価	173.1	172.6	172.2	173.0	172.5		172.7
加工乳	販売個数	3,483	3,270	3,297	3,275	3,045		3,393
	販売個数前年比	86.8	92.1	94.5	95.8	93.0	96.4	94.9
	販売単価	188.8	188.9	189.2	188.4	187.8		187.1
乳飲料	販売個数	27,254	25,560	25,513	25,241	23,512		25,018
	販売個数前年比	93.8	98.1	99.1	98.8	94.3	97.7	90.8
	販売単価	150.4	150.1	150.6	150.6	150.3		150.5

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	2.8-	2.15-	2.22-	3.1-	3.8-	3.15-	3.22-	3.29-	4.5-
トータル	販売個数	39,749	39,128	39,765	38,685	38,894	38,648	39,559	40,372	39,853
	販売個数前年比	104.6	105.8	97.4	98.7	96.6	98.1	94.2	95.4	91.7
	販売単価	182.0	182.1	181.9	181.9	181.7	182.1	182.6	182.6	182.5
牛乳	販売個数	30,016	29,549	30,065	29,249	29,520	29,280	30,194	30,645	30,307
	販売個数前年比	106.3	107.0	99.0	99.9	98.0	99.2	95.9	96.7	93.1
	販売単価	189.1	189.1	188.9	189.0	188.6	189.0	189.2	189.4	189.3
成分調整牛乳	販売個数	3,055	3,008	3,017	2,960	2,974	2,939	2,982	3,120	3,001
	販売個数前年比	102.0	103.7	93.0	95.9	93.6	95.6	91.1	93.4	87.4
	販売単価	172.4	172.5	172.9	172.4	172.4	172.6	173.3	172.5	173.1
加工乳	販売個数	764	758	774	754	758	754	779	801	785
	販売個数前年比	97.2	98.9	92.9	94.9	94.8	98.0	94.0	96.5	91.1
	販売単価	187.4	188.1	187.2	187.5	187.1	187.5	187.4	188.7	188.6
乳飲料	販売個数	5,914	5,814	5,909	5,721	5,643	5,675	5,604	5,806	5,760
	販売個数前年比	99.1	101.5	92.7	95.0	91.1	93.6	87.5	89.9	87.2
	販売単価	150.2	150.3	150.0	150.1	149.9	150.3	151.2	151.7	150.8

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の週次動向(表④参照)

直近(4/5週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)各品目とも前週(3/29週)の販売個数を若干下回った。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

単位:千個

品目	2.8-	2.15-	2.22-	3.1-	3.8-	3.15-	3.22-	3.29-	4.5-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	→	↘	→	→	→	↘	↘	↘

	:前年比90%未満		:前年比105%以上110%未満
	:前年比90%以上100%未満		:前年比110%以上120%未満
	:前年比100%以上105%未満		:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家計支出の動向】

(1)牛乳乳製品の支出額について、前年同月より家庭内需要が大幅に増加したことから、伸び率は縮小している。

(2)中食、家庭内食における支出額は前年を上回っている一方、外食は引き続き前年を大きく下回っている。

※統計局家計調査(家庭内食は、食料-調理食品-外食で算出)

用途分類	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	閏年修正
牛乳乳製品	支出金額	3,523	3,645	3,300	3,286	3,366	3,223	3,142	3,073	3,311	3,092	3,035	
	前年同月比	117.9%	113.7%	107.7%	105.9%	108.4%	102.8%	101.6%	103.5%	104.2%	106.1%	99.4%	103.0%
調理食品(中食)	支出金額	9,824	10,306	9,996	10,961	11,258	10,423	10,690	10,682	14,440	10,764	10,468	
	前年同月比	99.7%	102.0%	103.5%	101.2%	102.5%	102.1%	102.3%	103.4%	106.0%	106.9%	103.5%	107.2%
外食	支出金額	4,646	5,988	8,184	9,429	10,172	9,975	11,025	11,270	10,360	7,992	7,961	
	前年同月比	37.3%	44.8%	66.8%	74.3%	72.4%	80.1%	95.4%	87.6%	71.7%	60.4%	69.4%	71.9%
家庭内食	支出金額	57,906	59,844	55,698	54,685	58,887	55,316	54,906	53,456	67,228	52,942	51,400	
	前年同月比	113.8%	113.6%	108.5%	107.7%	111.0%	104.7%	105.7%	106.7%	106.6%	110.1%	101.5%	105.1%

【家畜販売価格動向】

(1)2月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は829千円(前年同期比97.0%)、育成牛価格は462千円(同95.5%)、和牛素牛(去勢)価格は847千円(118.0%)、F1素牛(去勢)価格は422千円(同90.8%)、F1初生(雄)価格は171千円(67.4%)。
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同101.7%、育成牛:同95.8%。また、和牛素牛(去勢):同105.8%、F1初生(雄):同129.8%は前年を上回ったが、F1素牛(去勢):同79.9%と前年を大きく下回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値 (<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

